

14日から16日頃にかけての暴風雪と高波及び大雪について

令和元年11月13日（水） 11時00分 札幌管区気象台

北海道地方では、14日から16日頃にかけて、真冬並みの寒気が流れ込み、強い冬型の気圧配置となります。日本海側を中心に西よりの風が雪を伴い非常に強く、海は大しけとなる見込みです。

14日昼前から16日頃にかけて、暴風や高波、猛ふぶきや吹きだまりによる交通障害に警戒してください。

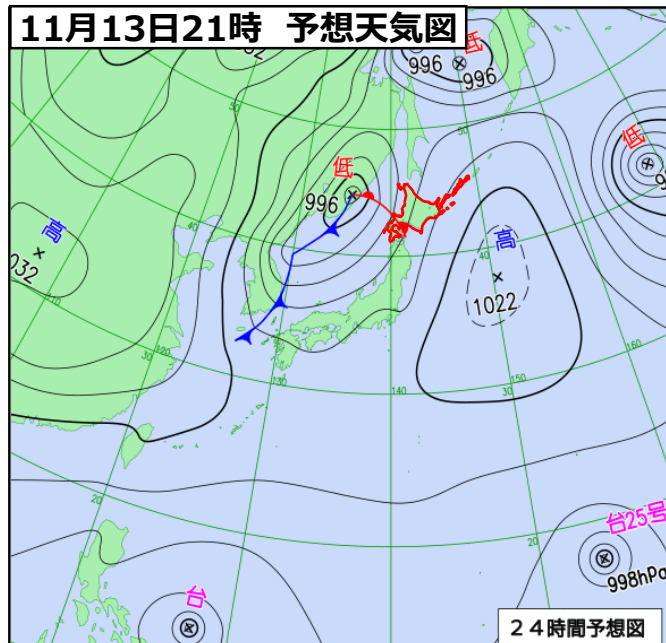
また、14日夜から16日頃にかけて降雪量が多くなり、大雪の期間が長くなるため交通障害やなだれに十分注意してください。

なお、14日は雨が雪に変わるため、湿り雪による電線等への着雪に注意し、停電や倒木、農業施設の管理等にも注意してください。落雷や突風、ひょうにも注意が必要です。

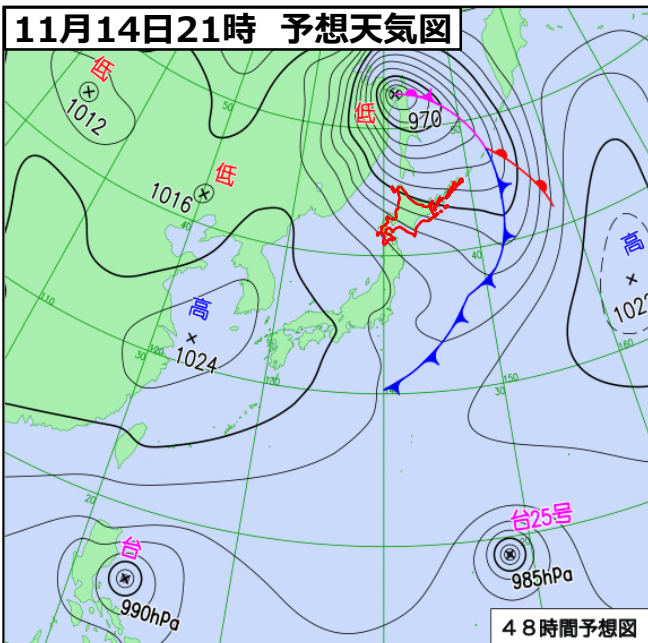
今後、気象台や測候所の発表する最新の防災気象情報に留意してください。

■ 予想天気図

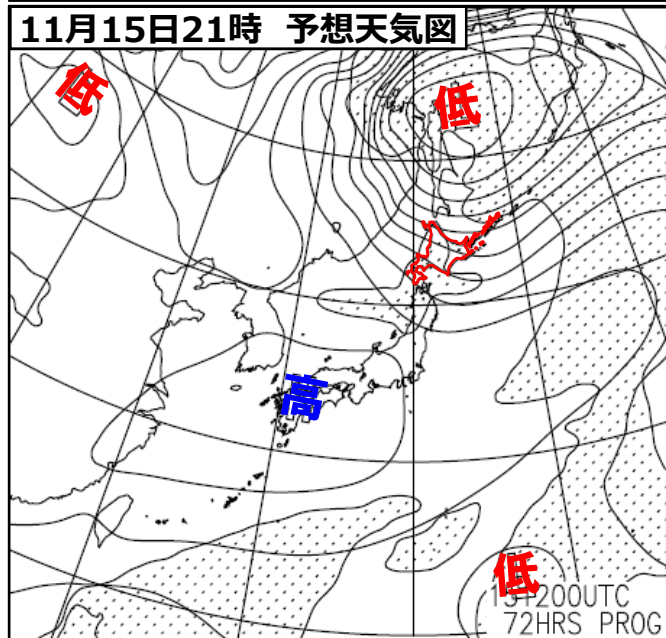
11月13日21時 予想天気図



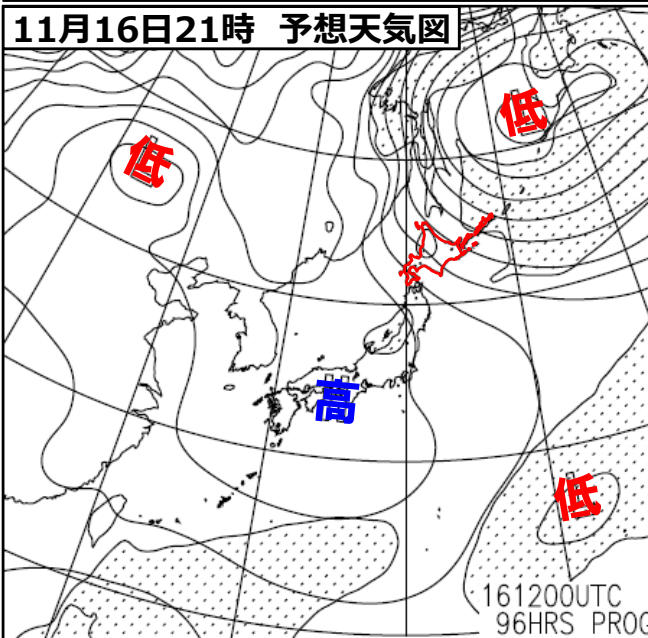
11月14日21時 予想天気図



11月15日21時 予想天気図



11月16日21時 予想天気図



網掛け部分は降水の予想

■ 上空約1500mの予想気温

北海道付近は、14日は前線を伴った低気圧が発達しながら通過するでしょう。その後、上空約1500メートルには真冬並みの氷点下15度以下の寒気が入り、16日頃にかけて強い冬型の気圧配置となる見込みです。

上空約1500メートルの予想気温

	12	11/13				11/14				11/15				11/16			
JST->	21	03	09	15	21	03	09	15	21	03	09	15	21	03	09	15	21
稚内	-5	-3	-4	-2	0	1	1	-11	-16	-18	-17	-16	-16	-16	-16	-15	-13
旭川	-4	-3	-3	-1	2	2	4	-9	-14	-15	-13	-12	-13	-13	-13	-14	-12
釧路	0	-1	-1	1	2	2	5	-1	-13	-14	-12	-10	-10	-12	-12	-12	-11
札幌	-3	-1	-1	0	2	3	2	-10	-14	-14	-12	-10	-12	-12	-12	-13	-12
函館	0	0	1	2	3	4	0	-9	-13	-12	-11	-6	-9	-11	-11	-11	-11

上空約1500メートルの予想気温（平年差）

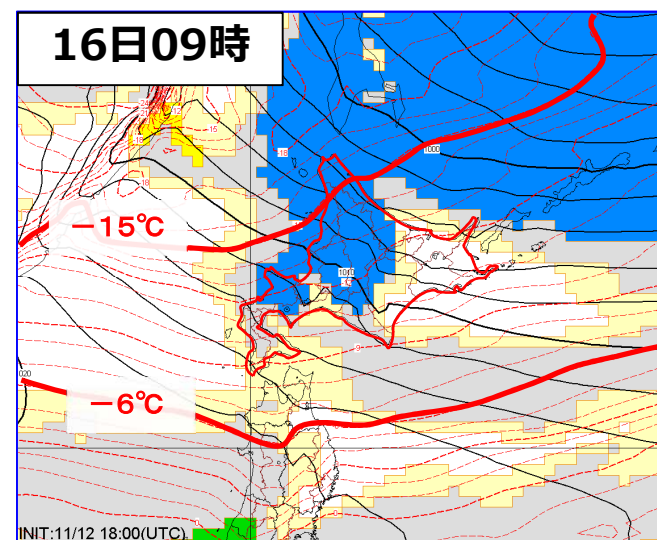
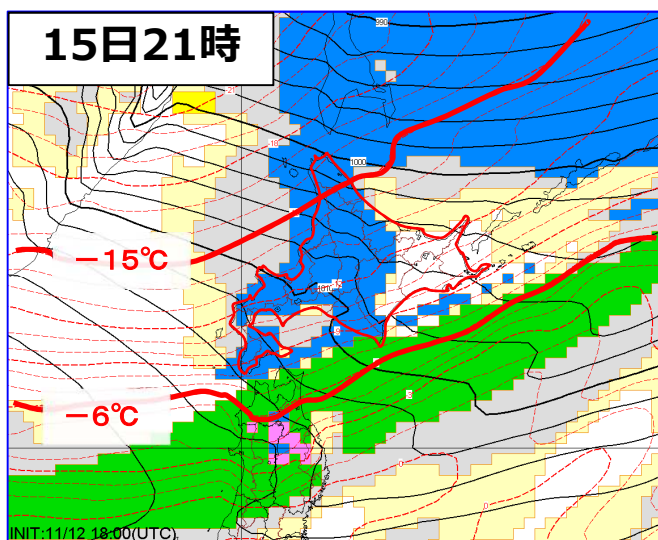
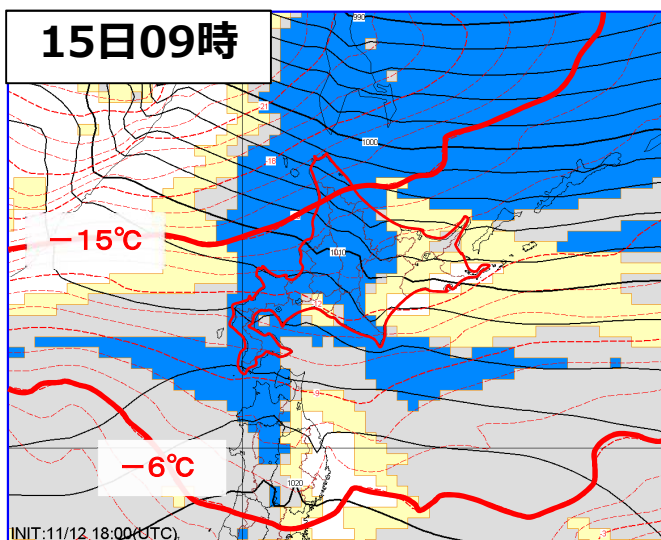
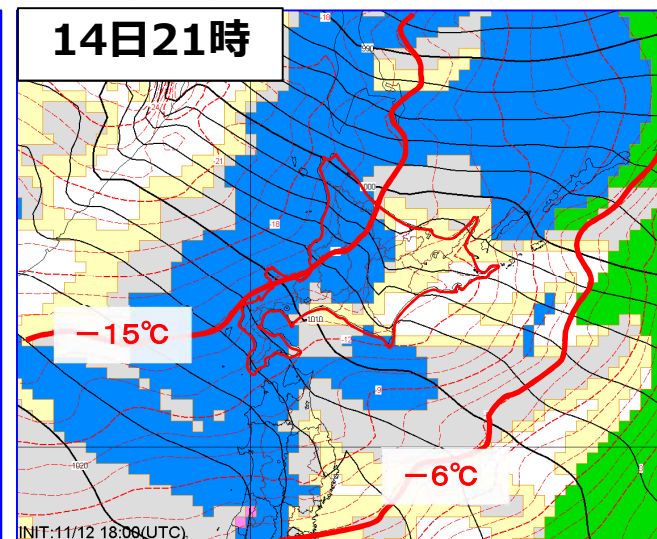
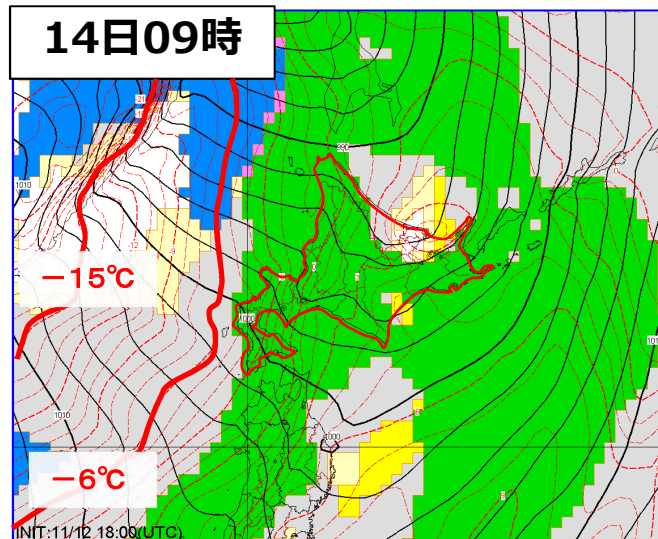
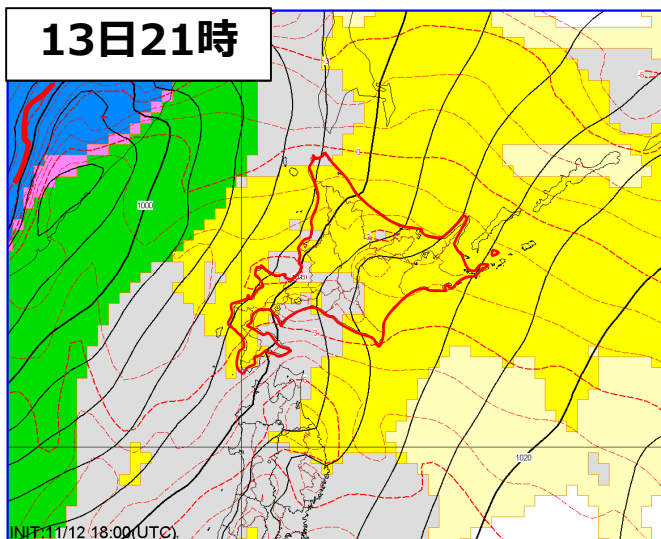
	12	11/13				11/14				11/15				11/16			
JST->	21	03	09	15	21	03	09	15	21	03	09	15	21	03	09	15	21
稚内	1	3	3	5	6	7	8	-4	-10	-11	-10	-9	-9	-9	-9	-7	-6
旭川	1	2	3	4	7	7	10	-3	-9	-9	-7	-6	-7	-7	-7	-7	-6
釧路	3	3	3	5	5	5	9	3	-9	-10	-8	-6	-6	-8	-7	-7	-6
札幌	1	3	4	5	6	7	6	-6	-10	-9	-7	-5	-7	-7	-7	-7	-6
函館	3	3	4	6	7	7	4	-5	-9	-9	-7	-3	-6	-8	-7	-7	-7

北海道の上空約1500m
 ・氷点下15度以下
 ・平年より、10度程度低い

■ 予想天気図

黒線：等圧線 赤線：上空約1500mの気温 色分け：天気

快晴 晴 薄曇 曇 雨 みぞれ 雪



ここに掲載している図は、気圧配置や天気・降水の分布を概観するためのものです。

■ 早期注意情報（警報級の可能性）

令和元年11月13日11時 現在

時間帯	暴風・暴風雪				波浪				大雪			
	13日	14日	15日	16日	13日	14日	15日	16日	13日	14日	15日	16日
	18-6	6-24			18-6	6-24			18-6	6-24		
石狩・空知・後志地方	-	[高]	[高]	[高]	-	[高]	[高]	[高]	-	-	[中]	[中]
宗谷地方	-	[高]	[高]	[高]	-	[高]	[高]	[高]	-	-	-	-
上川・留萌地方	[中]	[高]	[高]	[高]	-	[高]	[高]	[高]	-	-	[中]	[中]
網走・北見・紋別地方	-	-	[中]	[中]	-	-	[高]	[中]	-	-	-	-
釧路・根室地方	-	-	[中]	[中]	-	-	[高]	[中]	-	-	-	-
十勝地方	-	-			-	-			-	-		
胆振・日高地方	-	[高]	[高]	[中]	-	[中]	[中]	-	-	-	-	-
渡島・檜山地方	-	[高]	[高]	[中]	-	[高]	[高]	[中]	-	-	-	-

[高]：警報発表中、又は、警報を発表するような現象発生の可能性が高い状況。
[中]：[高]ほど可能性が高くはないが、警報を発表するような現象発生の可能性
がある状況。

■ 風・波・雪の予想

13日11時現在の予想

＜風の予想＞ 西の風

14日の最大風速（最大瞬間風速）

日本海側

陸上 23メートル（35メートル）

海上 25メートル（35メートル）

太平洋側

陸上 20メートル（35メートル）

海上 23メートル（35メートル）

オホーツク側

陸上 15メートル（30メートル）

海上 20メートル（30メートル）

非常に強い風は、16日頃にかけて続く見込み

＜波の予想＞

14日の波の高さ

日本海側 7メートル

太平洋側 6メートル

オホーツク海側 4メートル

大しけの状態は、16日頃にかけて続く見込み

＜雪の予想＞

14日12時から15日12時までの24時間降雪量

日本海側 60から80センチ

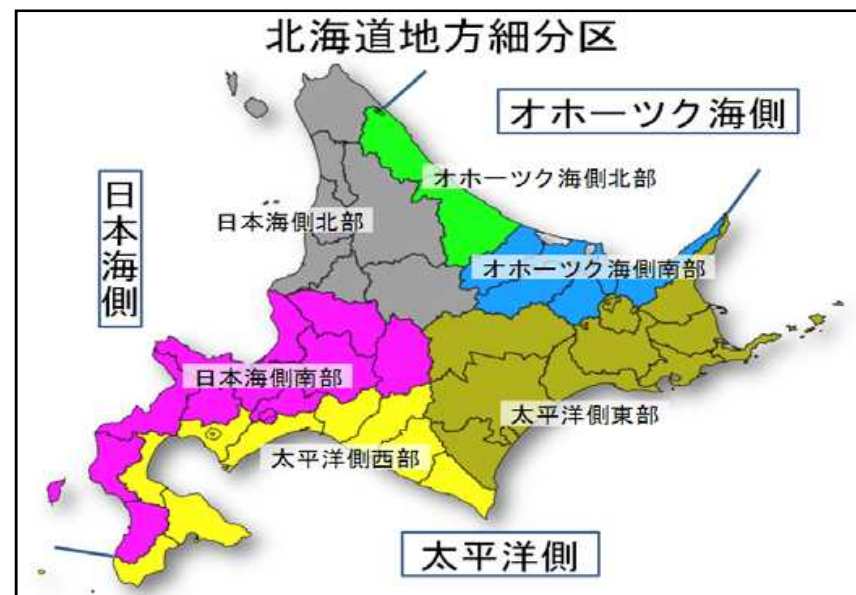
降雪量は、日本海側を中心に、16日頃にかけてさらに多くなる見込み

＜雨の予想＞

13日12時から14日12時までの24時間雨量

北海道地方の多い所 80ミリ

雨は、14日夕方までに雪に変わる見込み



■警戒を要する時間帯

			14日								15日	
			0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-12時	12-24時
			未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く		
暴風雪 (暴風) メートル	日本海側	陸上	15	15	15	18	20	20	23	23		
		海上	20	20	20	20	23	23	25	25		
	オホーツク海側	陸上	12	12	15	15	15	15	15	15		
		海上	15	18	18	18	18	20	20	20		
	太平洋側	陸上	13	15	15	18	20	20	20	20		
		海上	20	20	20	23	23	23	23	23		
波浪 メートル	日本海側		4	4	4	5	6	6	6	7		
	オホーツク海側					3	3	3	4	4		
	太平洋側		3	3	4	5	6	6	6	6		
大雪 センチ	日本海側											
	オホーツク海側											
	太平洋側											
	警報級		注意報級									

- ・量予想は最新の警報や注意報でご確認ください。
- ・16日にかけて、警報が続く見込みです。

■ 注意・警戒すべき事項

～防災機関や報道等を通じて住民に伝えていただきたいこと～

◆ 防災事項

- 暴風雪（交通障害、農業施設への被害、停電、倒木）に警戒
⇒ 非常に強い風は、日本海側を中心に16日頃にかけて続く見込み。
- 波浪（高波、沿岸施設への被害）に警戒
⇒ 大しけの状態は、日本海側を中心に16日頃にかけて続く見込み。
- 大雪（交通障害、農業施設への被害）に十分注意
⇒ 降雪量は、日本海側を中心に、16日頃にかけて多くなる見込み。

◆ 暴風雪・大雪への備え

- 防災機関の方は、早めの体制の構築をお願いします。
- 危険を感じたらすぐに安全を確保する行動をとってください。

各地の気象台の発表する警報・注意報など気象情報に留意してください。

■ 暴風雪への備え

！ もしも暴風雪に遭遇してしまったら…

★ 歩行中や屋外で作業中のとき

視界不良（ホワイタアウト）により方向感覚がなくなり、自分の位置が分からなくなることがあるので…

- ！ 商店やコンビニ、人家など建物の中の安全な場所へ移動して天気のを待つ
- ！ 歩行中は傘で飛ばされてくる物に注意する
- ！ 重ね着や肌の露出を少なくし、体温が低下しないようにする

★ 家の中にいるとき

FF式暖房機等の給排気口が吹きだまりでふさがれると、一酸化炭素中毒を起こす可能性があるので…

- ！ 給排気口がふさがれていないか確認する
- ！ 出入口を確保するため、吹きだまりの状況を見て除雪する

★ 車を運転しているとき

1. 運転中に暴風雪となり視界が悪くなったときは、そのまま運転を続けるのは大変危険なので…

- ！ 道の駅、コンビニなどで天気のを待つ
- ！ 気象情報や道路情報を確認する

2. 途中で立往生をしてしまったときは、後続車から追突されないように…

- ！ ハザードランプを点滅、停止表示板を置く
- ！ JAF等のロードサービス、近くの商店や人家等に救助を求める
- ！ 避難できる場所や救助を求められる人家が近くに無いときは、警察・消防に連絡して救助を求める

3. 車内で救助を待つときは、排気ガスによる一酸化炭素中毒や低体温症に十分注意が必要なので…

！ 原則エンジン停止

一酸化炭素中毒の危険をなくすにはエンジンを切る必要があります。防寒着や毛布、新聞紙などで体温の低下を防ぎましょう。



！ 一酸化炭素中毒の危険性

車が雪に埋もれたときにエンジンをかけ続けると排気ガスによる一酸化炭素中毒の危険性が高まります。雪の深さが深いほど危険です。



！ エンジンをかけるときは

防寒着や毛布を脱ぎエンジンがかかる際には、排気管出口を確実に大気へ開放し、追加の降雪や吹きだまりによる再埋没に注意しましょう。



！ 窓を開けていても絶対安全とは言えません

風向や窓の開度などの条件によっては、窓を開けていても一酸化炭素中毒の危険性が高くなることもあります。



緊急時の
連絡先

車の故障・不具合・レッカー移動などは

JAF ロードサービス救援コール
0570-00-8139 又は **#8139** (国営ダイヤル)

車の事故・人命救助の要請などは

警察 **110** 消防 **119**

企画制作

国土交通省
北海道開発局

気象庁
札幌管区気象台

北海道

CERI (株) 土木研究所
寒地土木研究所

暴風雪警報発令中
通行注意



車内泊・中絶 (平成25年1月27日)

できていますか？
**暴風雪
への備え**

えりも町
車43台が立ち往生！ 100名以上が避難！ (平成22年1月)



！ 北海道では暴風雪災害が繰り返し発生しています



今後の予想を含めた最新の情報は、以下からご利用ください。

○**気象警報・注意報**

<https://www.jma.go.jp/jp/warn/>

○**各地の気象情報**

<https://www.jma.go.jp/jp/kishojoho/>

○**最新の気象データ**（雨雲の動き、今後の雨、雨や風の観測データ、衛星画像）

<https://www.jma.go.jp/jp/highresorad/>

<https://www.jma.go.jp/jp/kaikotan/>

https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/pre_rct/index24_rct.html

https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/wind_rct/index_mxwsp.html

<https://www.jma.go.jp/jp/gms/>

○**暴風雪への備え（リーフレット）**

<https://www.jma-net.go.jp/sapporo/bousaikyouiku/schoolbousai/boufusetu/ippan.pdf>